

マスコミ各位

令和3年11月17日(水)
沖縄県保健医療部ワクチン接種等戦略課 予防班
担 当：岡野、嘉数
電 話：098-866-2013

宮古地域で初めてのレプトスピラ症の発生について

1 概要

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラという細菌の感染によって引き起こされる人獣共通感染症です。主な症状は頭痛、発熱（38℃以上）、筋肉痛・関節痛、結膜充血で、重症になると腎機能障害、黄疸などの症状が現れ、治療しないと死に至ることもあります。

レプトスピラ症が2003年に4類感染症に指定されて以来、本県ではこれまで宮古地域での感染例は確認されていませんでしたが、今年10月に初めて2例報告されました。

マスコミの皆様には、本感染症の予防法、早期受診及び医師への状況説明等の周知についてご協力いただきますようお願いいたします。

*1995年に、海外での感染が疑われ宮古地域で発症・診断された事例1件あり

令和3年に宮古地域で発生したレプトスピラ症情報（令和3年11月17日現在）

症例	年代	性別	職業	推定 感染地域	推定感染経路	備考
1例目	60代	男性	農業	宮古島市	ネズミ咬傷（自宅でネズミ捕りに引っかかっていたネズミに指を噛まれた）、もしくは裸足の農作業	治療後 退院
2例目	80代	男性	農業	宮古島市	調査中 ※普段から農作業あり、自宅でネズミとの接触もあり	入院中

2 レプトスピラ症に感染しないために

病気の原因となるレプトスピラ菌は、感染したネズミやマングース等の野生動物の尿中、もしくは、それらの野生動物と触れ合っただけで感染した家畜（牛、豚等）、ペット（犬、猫等）の尿中に存在します。

人は尿に汚染された水（淡水）や土壌に触れたり、感染している野生動物に触れる・噛まれるといったことにより感染します。

そのため、

1. 捕獲したネズミなど野生動物との素手での接触を避け、噛まれないように注意する。
2. 農作業など野外活動をする際は、長靴や手袋を使用し、土や水との直接的な接触を避ける。
3. 皮膚に傷がある場合は、河川での遊泳を控える。
4. 河川や滝などの生水はそのまま飲まない。
5. 家畜（牛、豚等）やペット（犬、猫等）の尿に触れた場合は、しっかり手洗いをを行う。

といった予防対策を心がけることが重要です。

また、野外活動やネズミの捕獲をした後、3～14日以内に突然の頭痛、発熱、筋肉痛の症状がでたら、すぐに医療機関を受診し、その活動状況を医師に伝えることがレプトスピラ症診断の重要なポイントになります。